

令和8年度

釧路工業高等専門学校学生募集要項（追加募集）

	出願書類受付期間	試験日	合格発表
前半日程	令和8年2月17日（火） ～2月24日（火）	令和8年3月2日（月） または3月3日（火）	令和8年3月4日（水）
後半日程	令和8年3月17日（火） ～3月18日（水）	令和8年3月19日（木）	令和8年3月23日（月）

独立行政法人 国立高等専門学校機構

釧路工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), KUSHIRO COLLEGE

〒084-0916 釧路市大楽毛西2丁目32番1号

釧路工業高等専門学校 学生課修学支援係

TEL (0154) 57-7222

FAX (0154) 57-6256

Email kyoumug@kushiro-ct.ac.jp

URL <https://www.kushiro-ct.ac.jp/>

釧路高専の教育理念・教育目標・学習目標

教育理念

釧路工業高等専門学校（以下「本校」という）は北海道東部に位置する技術系高等教育機関として、地域産業の発展に貢献できる技術者や、国内外で活躍できる技術者の育成、また、産業界への技術支援、技術者のキャリアアップ教育、地域住民の生涯教育や社会活動への支援を任務としている。これらの実現のために「創造力と問題発見・解決能力を備えた実践力のある技術者を育成し、地域の社会的・技術的要請に応え、地域と連携し、地域に貢献する」ことを理念とする。

教育目標

1. 人格をそなえ、自己を律する人物を育てる。
2. 広い視野を持ち、創造力豊かな技術者を育てる。
3. チャレンジ精神に富んだ人物を育てる。

学習目標

【準学士課程】（実践的・創造的技術者）

- A：（技術者として社会に貢献するために）人類の歴史的な背景、文化や価値観の多様性を理解し、地球的規模で社会問題や環境問題を考える基礎能力、および技術が社会や環境に与える影響を認識し、技術者が社会に対して負っている責任を理解する基礎能力を身につける。
- B：（地域・社会に貢献するために）地域の産業や社会の抱える課題に対処できる基礎能力を身につける。
- C：（技術的課題を解決できるように）工学の幅広い基礎知識（数学、自然科学、情報技術、基礎工学）を修得し、それらを応用する能力を身につける。
- D：技術者として自己の基盤となる専門分野の知識を修得し、それを応用する能力を身につける。
- E：技術的課題を分析・総合し、解決するための計画をたて、その計画を実行して課題を解決する基礎能力を身につける。さらに、チームワークで仕事をする基礎能力を身につける。
- F：文章、口頭、図表や視覚的な方法によって、効果的にコミュニケーションができる基礎能力を身につける。
すなわち、日本語で論理的に記述し討論する能力、および簡単な論理的文章を英語で記述し、基本的な英会話によるコミュニケーションを行うための基礎知識を身につける。
- G：（技術の進展や社会の変化に対応できるように）継続して専門知識や関連する分野の知識を学習する習慣を身につける。

アドミッションポリシー

釧路高専入学者受入方針

こんな「あなた」に来てほしい！

… 釧路高専が求める人の姿 …

工学を学ぶための基礎学力を備えた人で

◎技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性

◎向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力

◎社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人……………意識と改革

◎約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調

◎失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇氣と挑戦

「技術」や「数学」「理科」が大好きな人、生徒会やクラブ、ボランティア活動に積極的な人、新しい「もの」や「方法」を創りだして社会の役に立ちたい人、そして「やる気」にあふれた人 … そんな人たちを歓迎します。

釧路高専がいま求めているのは、きっと「あなた」です。

スマートメカニクスコース

情報工学分野と機械工学分野を融合し、様々な機能を実現するために製品に組み込まれるコンピュータシステム技術、高度情報化社会を支えるプログラミング技術、人間と機械間の情報をやり取りする情報の流れを制御するためのシステム技術、人間と機械・システム間の橋渡しをするマンマシンインターフェース技術、機械とセンサーやコンピュータ技術を結合させて機械の高度化を図るメカトロニクス技術等を活用することができる、高度な技術者を養成します。本コースでは、それぞれ一つの専門分野を体系的に学び、その後もう一方の専門分野の知識を吸収することにより、目標とする技術者を養成します。

○情報工学分野

スマートメカニクスコースの中で、特に大量の情報を効率よく「取得」「加工」「蓄積」「伝達」するなどの情報工学を中心とした技術者になるため、ネットワークの仕組み、プログラミング技術、データベース技術、人工知能（AI）技術など、情報工学の基礎から応用までの幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. コンピュータの動作原理やプログラミングに興味のある人
2. データベースやネットワークなどのITの応用技術を修得したい人
3. 実践的な技術や専門知識を学習し、IT社会に貢献したい人

○機械工学分野

スマートメカニクスコースの中で、特に「エネルギー」「情報」「機械材料」をつくり出す“ものづくり”などの機械工学を中心とした技術者になるため、力学、設計・製図、材料・加工、メカトロニクス、熱・流体、情報処理技術など、幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 機械が好きで、みずから新しい“ものづくり”に挑戦できる人
2. 人のために役に立ち、地球に優しい“ものづくり”に関心のある人
3. グローバルな視点に立ち、安全な“ものづくり”に貢献したい人

エレクトロニクスコース

電気工学分野と電子工学分野を融合し、電気エネルギーや計測制御と光・電子デバイス、電子制御と情報通信技術を学び、人々の安心・安全で豊かな生活を支えるために、社会基盤技術から情報通信技術までの幅広く全ての産業に貢献出来る高度な技術者を養成します。本コースでは、まずは電気・電子分野の共通基礎科目を学び、その後それぞれの専門分野を体系的に学ぶことにより、目標とする技術者を養成します。

○電気工学分野

エレクトロニクスコースの中で、特に人々の暮らしを支える電気エネルギーの「生成」「伝送」「利用」などの電気工学を中心とした技術者になるため、電気の基本から始まり、電気エネルギーの作り方や送り方、電気エネルギーを機械エネルギーに変える方法、機械やロボットの仕組みなど、幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 発電、送電、新エネルギーに興味のある人
2. 電波、放送、通信、画像処理に興味のある人
3. コンピュータ、ロボット、モータに興味のある人

○電子工学分野

エレクトロニクスコースの中で、特に「電子デバイス」「情報通信」「電子制御」などの電子工学を中心とした技術者になるため、電磁気学、電気・電子回路、論理回路、光・電子デバイス、通信工学、プログラム言語などの電子工学に関する基礎から応用までの幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. ICT（情報通信技術）に興味があり、新しい情報伝達の仕組み（通信）を築きたい人
2. 「もの」の仕組みに興味があり、いままでにない物質（半導体）を創りたい人
3. コンピュータで「もの」を測ったり（計測）、自動制御によってロボットを自在に動かしたい人

建築デザインコース

○建築学分野

建築の「意匠と計画」「構造と材料」「環境と設備」に関する技術を学び、「使いやすさ」や「安全性」と共に、「空間の美しさ」を追求出来る高度な技術者を養成します。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 建物の形やつくり方に興味がある人
2. 暮らしやすい環境に興味がある人
3. デザインすることが好きな人

学 生 募 集 要 項

1. 募 集 定 員

学 科 名	定 員 数
創 造 工 学 科	相当数

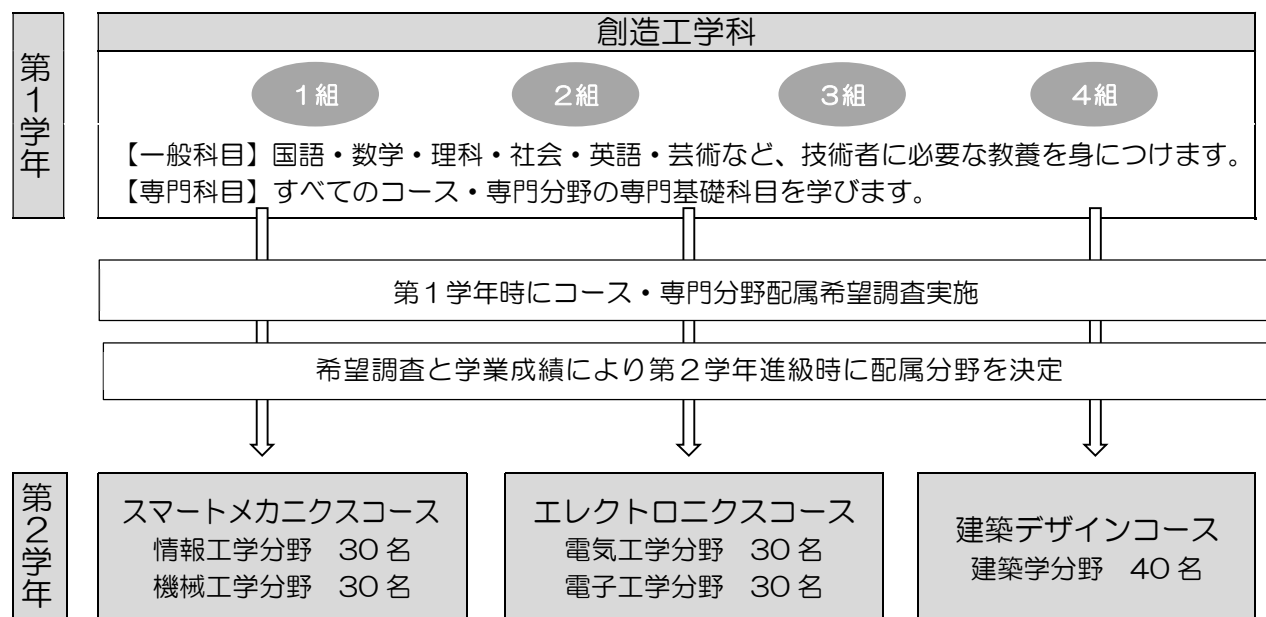
※参考（過去3ヵ年の合格者数）
 令和5年度27名
 （前期日程23名、後期日程4名）
 令和6年度41名
 （前期日程32名、後期日程9名）
 令和7年度16名
 （前期日程15名、後期日程1名）

2. コース・専門分野の選択

本校では全ての入学者選抜において「創造工学科」1学科で学生募集を行います。

本校に入学後、第1学年の全学生が共通の一般科目及び専門科目を学び、技術者に必要な教養や基礎となる専門知識を学びます。

第2学年への進級時に、学生が希望するコース・専門分野を選択し、学業成績順に希望するコース・専門分野に配属されます。



3. 出 願 資 格

- (1) 中学校を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和8年3月修了見込みの者を含む。）
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（学校教育法施行規則第95条各号に該当する者）

4. 出 願 手 続

(1) 出願書類受付

受 付 期 間	前半 日程	令和8年2月17日（火）から令和8年2月24日（火）まで
	後半 日程	令和8年3月17日（火）から令和8年3月18日（水）まで
受 付 時 間		9時から16時まで
受 付 場 所 及び 書類送付先		釧路工業高等専門学校 学生課修学支援係 〒084-0916 釧路市大楽毛西2-32-1 電話 0154-57-7222

(2) 出願書類等

以下の書類①～⑤を本校ホームページよりダウンロードし、パソコン等により作成・印刷のうえ、期日までに提出してください。（<https://www.kushiro-ct.ac.jp/>）

①	入 学 願 書	本校指定の様式に必要事項を記入してください。 <u>※メールにて重要な連絡を行いますので、e-mailアドレス欄は必ず記入してください。</u>
②	写 真 票	本校指定の様式に必要事項を記入してください。また、検査日の6ヶ月前以降に撮影した上半身・無帽・正面向きで、縦7cm×横5cmの大きさの写真を貼ってください。
③	受 験 票	本校指定の様式に必要事項を記入してください。 ※受験票の写しをデータでお送りいたします。
④	個 人 調 査 書	本校所定の様式により在籍中学校長が作成してください。 ※推薦選抜または学力選抜で既に個人調査書を提出している場合は再提出不要です。 ※3. 出願資格(3)に該当する者は履修証明書または成績証明書とします。
⑤	志 望 動 機 書	本校指定の様式に必要事項を記入してください。 <u>※志願者氏名欄以外はパソコンにより入力し、印刷してください。</u>
⑥	検 定 料	16,500円 検定料を最寄りの金融機関所定の振込依頼書、またはATMにより、以下振込先に振込みの上、取扱金融機関収納印を押した「検定料振込済証明書」（金融機関所定の様式）、またはご利用明細票等を必ず受け取り、提出してください（コピー不可） 既納の検定料はいかなる理由があっても返還できません。 ※振込期間 前半 令和8年2月17日（火）～令和8年2月24日（火） 後半 令和8年3月17日（火）～令和8年3月18日（水） 振込先 北陸銀行 釧路支店 普通口座 5062100 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部

(3) 出願に当たっての注意事項

- ① 出願時にはコース・専門分野を選択することができません。第1学年は創造工学科の所属となり、コース・専門分野への配属は第2学年進級時に決定します。配属は、第1学年時に行う希望調査と学業成績により決定し、第2学年進級時に各コース・専門分野へ配属されます（希望するコース・専門分野に配属されない場合もあります。）。
- ② 出願書類の不備なものは受け付けません。また出願書類に不正の記載があった場合には、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(4) 出願書類等の提出

出願書類等をすべて整え、在籍中学校長を経由して、本校学生課修学支援係へ持参または郵送してください。また、郵送の場合は、角2封筒使用・簡易書留とし、封筒の表に「釧路高専追加募集出願書類」と封筒に朱書きしてください。なお、中学校において志願者が複数いる場合には、「個人毎に」クリップ等でまとめてください。

受付期間内に提出が困難な場合には、受付期間内に在籍(出身)中学校から電話にて本校学生課修学支援係へ「在籍(出身)中学校名・学生氏名」を連絡の上、kyoumug@kushiro-ct.ac.jpへメールで出願書類一式を送信後、速やかに原本を本校学生課修学支援係へ郵送(簡易書留)または持参してください。

(5) 受験票の送付

本校から受験番号を付した写しをデータでお送りいたします。なお、郵送での返送はいたしません。

(6) 受験者心得等について

本校ホームページに掲載しますので、確認してください。

5. 選 抜 方 法

本校が行う面接及び個人調査書を総合的に判断して選抜します。

6. 検査の日時・場所

日 時	前半 日程	令和8年3月2日(月)または3月3日(火)の希望する日 面接 10時00分～
	後半 日程	令和8年3月19日(木) 面接 10時00分～
面接時間等		後日、メールにてお知らせします。
場 所		オンラインでの受験とします。(現地会場は設けません。)

7. 合 格 発 表

(1) 日 時 【前半日程】令和8年3月 4日(水) 9時00分

【後半日程】令和8年3月23日(月) 9時00分

(2) 方 法 本校ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付し、在籍中学校長に文書で合格者を通知します。なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じられません。

8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、以下の期日までに「入学確約書」(様式は本校ホームページからダウンロードしてください)を在籍(出身)中学校長経由により、本校学生課修学支援係へ提出してください(メール・FAX可)。

また、入学を辞退する場合は、同期日までに「入学辞退届」(様式任意)を在籍(出身)中学校長経由により、本校学生課修学支援係へ提出してください(メール・FAX可)。

・【前半日程】令和8年3月17日(火) 15時【必着】

・【後半日程】令和8年3月26日(木) 15時【必着】

なお、メール・FAXで送信する場合には、速やかに「原本」を郵送でも提出願います。

○オンライン受験について

1. オンライン面接は、「Microsoft Teams」により実施します。実施のためには、以下の条件を満たす必要があります。

- ①インターネットが利用できること（光回線などで通信速度に問題がないこと）
- ②カメラとマイクが利用できるPCが利用できること、もしくはMicrosoft Teams アプリケーションがインストール可能なスマートフォンまたは、タブレット端末が利用できること
- ③面接の実施に適した周囲に人のいない静かな場所（自宅など）が利用できること
- ④事前に接続テストを実施できること（マイクの音声、音量、画面などを確認）。

【前半日程】令和8年2月26日（木）16：00～17：00

【後半日程】令和8年3月18日（水）16：00～17：00

また、接続試験の結果、Microsoft Teams にて面接が実施できないと判断される場合、他のアプリケーションにより対応が可能なこと。

※「kyoumug@kushiro-ct.ac.jp」からのメールを受信できる様、ドメイン設定を解除して頂いただくか、または本校ドメイン『kushiro-ct.ac.jp』を受信リストに加えていただきますよう、お願いします。

2. 接続手順等について

- ①PCで受験する場合はブラウザまたはMicrosoft Teams アプリケーションを利用します。
- ②スマートフォンまたは、タブレット端末で受験する場合はMicrosoft Teams アプリケーションのインストールが必要になります。
- ③別紙の接続方法を参考に、オンライン会場に接続してください。接続の開始は、面接開始時刻の5分前までに行ってください。

※接続テストについては、メールにてお送りする本校の指定する接続テスト時間内に接続を行ってください。

- ④「ゲスト」として参加していただきます。

現在「Microsoft Teams」を利用されており、アカウントを所持している場合、一度ログアウトしてから、会議に参加してください。その際に求められる「名前」は、【受験番号・氏名】としてください。（例：〇〇〇〇〇・高専 太郎）

- ⑤受験者のマイク・カメラは、こちらから指示をするまで常にONにしてください。
- ⑥面接中に接続が切れてしまった場合は、再度、前述のURLからログインしてください。何らかの理由で接続ができなくなった場合は、本校学生課修学支援係（0154-57-7222）へ電話連絡してください。また、面接中の録画、録音、画面のキャプチャー行為は禁止します。

○受験上及び修学上合理的な配慮を必要とする場合について

受験上及び修学上合理的な配慮を必要とする場合には、出願前に本校学生課修学支援係へ相談してください。

・TEL: 0154-57-7222

・E-mail : kyoumug@kushiro-ct.ac.jp

○個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された出願書類に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のために使用します。

1. 入学後の教育・指導
2. 入学料、授業料の免除申請の審査
3. 奨学金申請の審査
4. 教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

○その他

- (1) 募集要項及び出願書類は、本校ホームページからダウンロードしてください。
- (2) ご不明な点等がありましたら、学生課修学支援係（TEL 0154-57-7222）へお問い合わせください。

○学寮入寮審査について

追加募集合格者の入寮希望者は、学寮の受入れ可能人数まで入寮ができます。

○学費・免除制度等

- (1) 入学時の諸経費（令和7年度実績）
入学料 84,600円
授業料 234,600円（年額）
※ その他、教科書代、災害共済掛金等の諸経費（100,000円程度）がかかります。
また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料を適用します。
- (2) 入学料免除
入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡、または、入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことより、入学料の納付が著しく困難な場合は入学料が免除される制度があります。
- (3) 高等学校等就学支援金制度
高等学校等就学支援金制度により、入学後36ヶ月間は、親権者（保護者）の所得に応じて授業料が減額されます。
- (4) 高等教育の修学支援新制度（4・5年生、専攻科生対象）
住民税非課税世帯やそれに準ずる世帯、また中間所得層の多子世帯の学生が、授業料及び入学料の減免並びに給付型奨学金の支給を受けられる制度です。（学力基準・家計基準があります。）
また、学生の学資を主として負担している者が死亡または風水害等の災害を受けた場合や、失職・病気等により世帯収入が激減した場合にも、選考基準を満たすことで授業料の減免並びに給付型奨学金の支給を受けることができます。
- (5) 奨学金制度
日本学生支援機構（JASSO）による奨学金のほか、各市町村や民間の奨学団体などが独自に奨学金の給付・貸与を行っています。本校に案内のあった奨学金制度の詳細は本校ホームページにて掲載していますので、適宜ご確認ください。本校ホームページに掲載されていない奨学金制度については、各実施機関へお問い合わせください。

○その他

- ・本校では、学生個人所有の「ノートパソコンの必携化」を令和6年度から実施しています。入学時には、入学関係書類を通じてご案内する指定スペック（仕様）等を確認の上、ノートパソコンをご準備ください。（当該スペックを満たすノートパソコンを所有している場合は、新たに購入する必要はありません。）